

## 教員会議 F D 資料

### 1. COC+事業の概要について

本学は、平成27年度から、文部科学省の委託事業として、地方大学が地域の各種機関と協働し、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、地域が求める人材育成を推進する取組みである「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」の取組を行っています。

内容としては、COC+事業の大きな目標である「県内就職率+10%以上増」に向かって、高大接続による県内高校生の入学促進、地域創生教育プログラムの充実等を含めた大学教育改革の推進のための取組を、教育プログラム開発委員会や雇用創出・県内就職率向上員会で協議しながらの取組を行っています。

現在、本学においても教育改革ワーキングを中心にAP、CP、DPの見直しや入学制度の改革に向けた取組等が行われていますが、その取組の1つのツールとして、本COC+事業を全学的な取組としていきたいと考えています。

### 2. 大分豊じょう化プランの概要について

#### (1) 全体の概要

- ①本事業は3つの柱で構成しています。図の左側の大分大学の教育活動で行われる「地域創生教育プログラム」と、中央の8大学で協働実施される「県内就職率向上プログラム」と、右側の、自治体や企業等が中心となって雇用の創出を進める「雇用創出プログラム」の事業です。
- ②学部教育、教養教育に直接関係する、図の左側の大分大学の教育活動で行われる「地域創生教育プログラム」についてその目的や仕組みについて説明します。

#### (2) 基盤教養科目(大分を創る科目)の受講状況

大分大学としてのCOC+事業の中心は、一番左側の教養教育の取組を中心として事業申請しました。下枠の「基盤教養科目」を「大分を創る科目」として選定し、平成28年度は89科目でしたが、全学生に1科目2単位の履修必須としています。

平成28年度入学生の、この1年間の「大分を創る科目」の履修は延べ4,264名で、平均すると1人当たり4科目を履修していることとなります。「大分を創る科目」を受講した結果、地域の現状を知ることや、課題解決に役立つ知識・理解・能力は深まりましたか」という問いでは、「深まった」「どちらかと言えば深まった」が64.5%(医学部を除くと69.3%)でした。また、「「大分を創る科目」の受講によって、大分県の企業や自治体等への就職に興味・関心が持てましたか」という問いでは、「持てた」「どちらかと言えば持てた」が48.3%(医学部を除くと51.9%)でした。

#### (3) 高度化教養(大分を創るトップアップ)の概要

今後は、この「大分を創る科目」の学びによって、大分創生、大分への就職の意識付けを行う学びの基盤づくりをして、「高度化教養科目」や「学部専門科目」での地域創生教育へ繋げていきたいと思っています。

さらに、基盤教養科目の2科目、4単位以上の履修生が更に学びを深めるための高度化教養科目を「大分を創るトップアップ科目」として、高度化レベル①の「地域ブランディング」科目、更に高度な高度化レベル②の「利益共有型インターンシップ」の科目を開講することとしています。

「評価基準」の明確化に対応するために、「大分を創る人材の育成像」を明確にしてきました。次年度以降の「大分を創る科目」において育成する「企業力」「地域力」「汎用力」を明確にして評価するための基盤を作成しました。

#### (4) 学部専門科目について

こうした学習は、真ん中の学部専門科目の学びと連動しながら進められることによって、真に地域や企業が求める人材が育成されることとなります。来年度から各学部の専門科目についても3科目程度「地域創生教育に繋がる科目」を選定していただいて、高度化教養科目との連動の有効性等を検討していくこととしています。

#### **平成29年度に検討する各学部の専門科目**

<経済学部>

「中級セミナー I」「中級セミナー II」「農山漁村再生論」「フィールドワーク入門」

<教育学部>

「教職展開ゼミ」「教育コミュニケーションの開発」「教育支援実践研究2」

<理工学部>

「都市計画」「都市システム工学」

<福祉健康科学部>

「福祉健康科学概論」「アーリー・エクスポージャー」「リハビリテーション医学・概論」

<医学部>

「地域医療学講義・実習」「地域医療・地域保健・総合内科」「地域看護学実習」

「地域看護活動展開演習」

学生は、学部に入學して学部のCP/DP、大学のDPに従って、学部から卒業していきます。学部での学びを高度化教養科目に生かし、高度化教養科目の学びを学部教育に生かしていくという学びを作っていくことが「学びの質の保証」に繋がると考えています。

### 3. 教員の協力について

高度化教養科目である「大分を創るトップアップ科目」としての高度化レベル①の「地域ブランディング」科目、更に高度な高度化レベル②の「利益共有型インターンシップ」の科目は、科目ごとに数人の教員が担当して行うこととしています。例えば「高度化①地域ブランディング」の科目では100名程度の学生を募集して、テーマごとのグループを編成し、グループ毎の地域関係者と教員で指導していくという授業方法です。よって多くの先生方のチームとしての教員組織を作ります。